

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	日本語コミュニケーションⅡ		(NKT14E)
講義名 (コード)	日本語コミュニケーションⅡ A		(NKT14EA)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	岩岡 夏子	時間数	30
成績評価教員	岩岡 夏子	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	日常的な場面で使われる日本語がある程度理解できる。また、そのための語彙や文法を身に付け、日常的に使用することができる。
全体の内容と概要	JLPTN3レベルの語彙・文法対策
授業時間外の学修	既習事項の復習
履修上の注意事項等	JLPT合格に向けて意欲的に授業に取り組むこと

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	レシピを読んで、料理の手順や注意を理解し、レシピ通りに料理ができる。①	前半、10分語彙問題の演習 後半、「～ずに」、「～まま」、連用中止、 この文法項目について理解する。
2	レシピを読んで、料理の手順や注意を理解し、レシピ通りに料理ができる。②	前半、10分語彙問題の演習 後半、「～ところへ」、「～きる」、 この文法項目について理解する。また、学習した文法項目を問題演習し、さらに理解を深める。
3	試験の傾向を知る①	模擬試験、FB
4	試験の傾向を知る②	模擬試験、FB
5	試験の傾向を知る③	模擬試験、FB
6	試験の傾向を知る④	模擬試験、FB
7	場境問題など、あるテーマについての発表で、問題提起ができ、自分の意見が言える。①	前半、10分語彙問題の演習 後半、「～おかげで」、「～を通じて」、「～ませんか／ないですか／ありませんか」 この文法項目について理解する。
8	場境問題など、あるテーマについての発表で、問題提起ができ、自分の意見が言える。②	前半、10分語彙問題の演習 後半、「～とこいつら」、「～べき／べきではない」、「～にとつて」 この文法項目について理解する。
9	場境など、あるテーマについて具体例から結論まで話し、全体としてまとまった発表ができる。①	前半、10分語彙問題の演習 後半、「～ほど」、「～による／～によつて」、「AばかりでなくB(も)」 この文法項目について理解する。
10	場境など、あるテーマについて具体例から結論まで話し、全体としてまとまった発表ができる。②	前半、10分語彙問題の演習 後半、「～(た)」、「～はず」 この文法項目について理解する。また、学習した文法項目を問題演習し、さらに理解を深める。
11	店員が説明するていねいな表現を理解し、受け答えができる。①	前半、10分語彙問題の演習 後半、「～ますぞ／ですと」、「～ようなら／ようだったら／ようでしたら」、「～てくる」 この文法項目について理解する。
12	店員が説明するていねいな表現を理解し、受け答えができる。②	前半、10分語彙問題の演習 後半、「～もので／ものですから」、「～なんか」、「～かと思う」 この文法項目について理解する。
13	またつて取返の支払いについて話したり、強くアドバイスをしたりすることができる。	前半、10分語彙問題の演習 後半、「～ばかり」、「～ばいいのに」、「～てもらってもいいですか」 この文法項目について理解する。
14	後期のまとめ	期末試験
15	まとめと解説	期末試験FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	『TRY!日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語 [改訂版]』(アスク出版)
参考文献・資料等	『日本語能力試験対策日本語パワードリル[N3文字・語彙]』(アスク出版)
備考	